

3. 北関東（地域別調査機関：（財）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	その他専門店〔携帯電話〕（従業員）	・発売予定の新商品需要と、高校進学者の需要が一番多くなる。あわせて若者向けの割引や広告を行うので、良くなる。
	やや良くなる	百貨店（売場主任）	・大手メーカーの品ぞろえが充実し、新しく導入したブランドも定着してきたので、今後も新規客の需要が見込まれる。
		百貨店（販売促進担当）	・競合店が閉鎖するため、販売量及び来客数の増加が見込まれる。
		スーパー（統括）	・冷夏による農業所得の減少やボーナス低下、社会保険料の増額など消費マインドに負の影響を与える要素が多く、依然として財布のひもは固いが、携帯電話、DVD、液晶、プラズマ関連企業は好調であり、県内全体では回復基調となる。
		コンビニ（店長）	・前年の2倍仕入れたクリスマス商品は、99%とほぼ売切している。バレンタイン商品は前年の3倍発注している。売場作りなどの手ごたえもあるので、イベントの売上が、そのまま日々の売上にプラスになるようにつなげていきたい。
		家電量販店（店長）	・新商品の液晶、プラズマの薄型ディスプレイが伸びており、今のところ電機業界に悪い要素もないので、年明けからも伸びていく。地上デジタル放送も受信可能な地域が順次増えるので、良くなっていく。
		乗用車販売店（経営者）	・新社会人の準備期間となり、過去ほどではないにせよ、市場は活性化する。
		乗用車販売店（営業担当）	・決算期を迎え、来場者が増加する。
		旅行代理店（営業担当）	・春以来続いていた海外旅行へのSARS等の影響が収まり、今まで旅行を控えていた客の需要が期待される。もし、SARSが出たら一発で駄目になる。
	住宅販売会社（経営者）	・建築予定の客がこの半年で1番多くなっている。ただし、決断するまでに時間がかかっており、やや良くなるという程度である。	
	変わらない	商店街（代表者）	・前年並みの宣伝費をかけても売上は下がったままで、他の経費も増大する一方である。周辺企業は正社員が少なく、パート、アルバイトがほとんどである。先の見えない状況は変わらない。
		百貨店（店長）	・この数か月、前年の売上をクリアできずにいる。今後も良くなるとは思えない。
		コンビニ（経営者）	・工場で生産が追いつかず人を雇うということもなく、雇用情勢は良くない。景気の良いことと違い、客の財布のひもが固く、必要な物以外は買わない。明るい材料がなく、今後2～3か月先が良くなるとは考えられない。
		コンビニ（経営者）	・3か月先のホワイトデーは年々減少傾向にあるが、客の目を引くアピールをし、店舗全体の売場を活性化させる。
コンビニ（店長）		・周辺に銀行破たんのショックの影響があり、これは当分の間続く。	
乗用車販売店（販売担当）		・地元銀行の破たんの影響が大きく、12月は最悪である。年が変わっても極端に良くなったり、買い控えが緩むという要素もなく、3月ごろまでは影響が残る。	
スナック（経営者）		・宴会の利用は好調であるが、フリーの客が少なく、売上が伸びない。	
通信会社（社員）		・携帯電話市場は、買換え需要が中心であり、新規加入数及び純増数は伸び悩んでいる。	
観光名所（職員）		・新年会等のシーズンとなるが、客数を確保しても客単価が低く、収益的に厳しい状況は依然として変わらない。	
ゴルフ場（支配人）		・雪によるクローズがない限りは、暖冬でプレイしやすいので、来客数の増加を期待している。人件費圧縮のため、1、2月は定休日を増やし、キャディーを春のゴルフシーズンに備えたコース内の林帯整備作業等に從事させる予定である。	
ゴルフ場（副支配人）		・地域の企業が地元銀行の破たんにより、どの程度冷え込むか次第である。土日の引き合いはそれなりにあるが、平日は極めて少ないという状況は変わらないと見込んでいる。	
競輪場（職員）		・地元銀行破たんの影響が出てくることや、他場の販売額も低下傾向にあることから、厳しい状況は変わらない。	
設計事務所（所長）		・建設関連業種は、まだまだ良くなるという状況ではない。市町合併に伴う変化もしばらく様子見となる。	

	やや悪くなる	商店街（代表者）	・時期的に活気がない上に冬の寒さが厳しくなると、人が外に出なくなり大型店でのショッピングに向かうので、やや悪くなる。
		一般小売店〔青果〕（店長）	・12月は干し芋目当ての客が大勢来店している。昨年もそうであったが、客は欲しい物のためには来店するということがある。肝心の干し芋は今年の天候不順で乾かず、売上が減少している。
		百貨店（販売促進担当）	・ボーナス支給額の減少から、冬物処分等でも単品買いが目立っている。消費動向は悪化傾向にある。
		スーパー（経営者）	・来客数は伸びているものの、客単価が依然として前年を割っているため、前年の売上をクリアするのは大変である。地元銀行が破たんした影響が出てくることを考えると、今後はやや悪くなる。
		スーパー（経営企画担当）	・3月に新たな競合店が出店する予定なので、その影響を受ける。
		衣料品専門店（販売担当）	・近隣に大型スーパーが開店した影響は半年程度続くと見込んでいる。また、3か月後には破たんした地元銀行の受皿となる銀行も決まり、県内大手だけでなく末端まで響いてくることとなるので、景気は下降気味である。
		一般レストラン（経営者）	・今後も大型店、飲食関係チェーン店の出店が続く予定で、競争が更に激化する。
		一般レストラン（業務担当）	・法人関係の新年会の予約状況は、前年と比べ人数が減少し、単価が下がっているので、やや悪くなる。
		都市型ホテル（スタッフ）	・新規オープンするホテルがあり、外部環境が厳しくなるので、やや悪くなる。
		旅行代理店（経営者）	・イラク、アフガニスタンのテロの問題、円高、SARS、国内の年金、税制問題があり、先行きが良くなるとは思えない。
	美容室（経営者）	・これまでは地域になかったカット1,000円の店がオープンした。開店したばかりで売上への影響は不明であるが、今後は安売り店との競合が考えられるので、厳しくなる。	
	悪くなる	一般小売店〔衣料〕（経営者）	・地元銀行が11月に破たんしたが、12月時点ではまだ経済への影響は少ない。今後1～4月にかけて影響が出て、徐々に悪くなる。銀行が早く正常化することを望んでいる。
		観光型ホテル（経営者）	・地元銀行破たんにより、今後は県内に様々な影響が出てくる。
企業動向関連	良くなる	一般機械器具製造業（生産管理担当）	・建設機械、油圧機器業界の取引先から、3月までは確実に仕事量の増加が見込めると聞いている。取引先の社内でこなしきれない部分の生産を、スポット的に手伝って欲しいという要請も増えている。
		輸送用機械器具製造業（総務担当）	・3か月後はほぼフル操業の見込みである。前年同月比では横ばいとなるが、新車の売行きが予想以上に良くなっていることから、コストダウンのマイナス分を吸収し、業績も良くなると判断している。
	やや良くなる	一般機械器具製造業（経営者）	・自動車関連部品は高水準で横ばいであり、建設機械関連部品は2月ごろより10%程度増加する。
		精密機械器具製造業（経営者）	・海外を含め、受注が若干多くなってきている。
		輸送用機械器具製造業（経営者）	・工作機械、自動車部品関係が大変忙しいので、これからはやや良くなる。
		その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	・前年と比べても取引先の業況は格段に良くなっている。収益の改善も進み、今後はますます設備投資、情報化投資を行う先が増加する。一方、地元銀行の破たんの影響で、投資を抑えて多めに資金を確保し、様子を見る取引先も増加することが予想される。
変わらない		化学工業（総務担当）	・受注量、販売量は低いところで安定している。何とか減らないでいるが、増量の雰囲気はまるでない。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	・特注品の受注見込みが具体化してきているが、一方で従来の受注品の見送りも決定しているので、総じて変わらない。
		窯業・土石製品製造業（総務担当）	・破たんした銀行の影響が出て、今後は厳しくなる。
		金属製品製造業（経営者）	・破たんした銀行と取引のある企業が当地域にも非常に多く、対応を懸念する動きなどから、今後影響が出てくる。
		電気機械器具製造業（経営者）	・企業格差が拡大している。体力、技術力のある企業は多忙で、二次以下の下請会社はコストも安く苦難が続く。
		不動産業（管理担当）	・近隣に建築中のビルが竣工するため、テナント入居の競争が激化する。

	やや悪くなる	<p>その他製造業 [宝石・貴金属] (経営者)</p> <p>その他サービス業 [放送] (営業担当)</p>	<p>・暮れになって老舗の宝石小売店から支払の延期、条件の変更の依頼が来ている。この一年は老舗の宝石問屋の倒産が続いた。一部に売上を向上させている企業もあるものの、多くは資金繰りが苦しく、来年も厳しい年となる。</p> <p>・1～3月までの3か月間の売上は、商業、サービス業、流通業からのスポットコマースの減少により、前年同期比で5%減少する見込みである。</p>
	悪くなる	<p>建設業 (総務担当)</p> <p>広告代理店 (営業担当)</p>	<p>・地元銀行の破たんに伴い、数千万円の損失が生じているので、今後は厳しい。</p> <p>・1月中旬～2月下旬までの販促広告受注数が激減している。決算前の利益確保のための縮小もあるが、消費が低迷する時期へのあきらめともとれる。</p>
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	<p>人材派遣会社 (営業担当)</p> <p>職業安定所 (職員)</p>	<p>・ひところより、派遣要請の件数は確実に増えている。しかし、以前と比べて要求されるスキル、業務内容のハードルが一段高く、企業がこれまで以上に即戦力を求めている様子がうかがえる。自動車ディーラーの損害保険担当者、住宅メーカーの宅建主任資格保持者、建築設計の即戦力技術者など、人材に要求されるレベルは高い。いかに優れた人材をより多く確保していくかが課題である。</p> <p>・デジタル製造関連の金属工具、ネジなどの精密部品分野や、年度末にかけての工事を控えての土木作業の求人が多くなってきた。</p>
変わらない		<p>人材派遣会社 (経営者)</p> <p>求人情報誌製作会社 (経営者)</p> <p>職業安定所 (職員)</p> <p>民間職業紹介機関 (経営者)</p> <p>学校 [短期大学] (就職担当)</p>	<p>・住宅関連の生産量は落ち着いてきたので、伸びは期待していない。電子関連、家電等の部品関係の製造は、生産量が増えて、契約期間が伸びている。求人数が増加するとしても、販売、サービス業、製造業の一部であり、あまり期待はできない。</p> <p>・一部に高収益の企業はあるものの、全般的には厳しいので、変わらない。</p> <p>・新規求人数は増加傾向にあるが、大半が直接雇用ではなく請負、派遣求人である。</p> <p>・製造業、一部のサービス業(派遣、介護関係)は堅調であるが、その他の業種は低迷状態が続いており、地方はまだら模様の景気が続く。</p> <p>・景気先行きに慎重な見方が根強い。学生が希望する事務、販売職などへの新卒採用には慎重な姿勢である企業が多く、繁忙期でもパート、派遣などで対応している。</p>
		職業安定所 (職員)	<p>・年末から年度末にかけて企業倒産や人員整理の話が数件ある上に、地元銀行の破たんによる銀行や取引先での雇用調整が予想される。地元への影響は大きく、先行きに明るい見通しは立てられない。</p>
		職業安定所 (職員)	<p>・年末から年度末にかけて企業倒産や人員整理の話が数件ある上に、地元銀行の破たんによる銀行や取引先での雇用調整が予想される。地元への影響は大きく、先行きに明るい見通しは立てられない。</p>
		職業安定所 (職員)	<p>・年末から年度末にかけて企業倒産や人員整理の話が数件ある上に、地元銀行の破たんによる銀行や取引先での雇用調整が予想される。地元への影響は大きく、先行きに明るい見通しは立てられない。</p>
やや悪くなる	職業安定所 (職員)	<p>・年末から年度末にかけて企業倒産や人員整理の話が数件ある上に、地元銀行の破たんによる銀行や取引先での雇用調整が予想される。地元への影響は大きく、先行きに明るい見通しは立てられない。</p>	
悪くなる	人材派遣会社 (社員)	<p>・地元銀行が破たんし、県内ではホテル関係の経営が非常に難しくなるという見通しがある。取引する上でも、売掛債権の回収、取引企業の状況を見極める必要があると感じている。</p>	